

7/29(金)「SDGsビジネス研究会」オープンセミナー

「(仮題)カーボンニュートラル社会に向けた地域企業の役割」
参加申込書

必要事項をご記入の上、E-mail[icsn@iwaki-sangakukan.com]又はFAX[0246-21-7571]にてお申込み願います。

会社名	
代表者(役職名・氏名)	
参加者1(役職名・氏名)	
参加者2(役職名・氏名)	
従業員数	名
電話番号	
E-mail	

研究会へのご入会の有無 いずれかに☑をお入れください	☐ 入会希望 ☐ 入会しない ☐ 検討中
-------------------------------	---

※研究会へのご入会にあたり、入会費・年会費等は一切ございません。
※7/29(金)オープンセミナー以降のご入会も可能です。
※お申込み頂いた企業様には、別途事前アンケートのご協力をお願いしております。



お問合せ・ お申込み先	公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会(担当:横山・柴田) TEL:0246-21-7570 FAX:0246-21-7571 E-mail:icsn@iwaki-sangakukan.com
----------------	--



令和4年度いわき地域中小企業等SDGs推進支援事業/
いわきものづくり塾「カーボンニュートラル入門・導入コース」併催

「SDGsビジネス研究会」
オープンセミナー

日時
令和4年
7月29日(金)
14:30~
16:30

参加費
無料

定員
20名



「(仮題)カーボン
ニュートラル社会
に向けた
地域企業の役割」

本セミナーでは、一般社団法人サステナブル経営推進機構 壁谷武久様をお招きし、カーボンニュートラル/脱炭素や環境問題・気候変動の概況のほか、企業経営を取り巻くカーボンニュートラルの世界潮流、サーキュラー型ビジネスモデル等について解説頂きます。

また、(公社)いわき産学官ネットワーク協会では、本年度より「SDGsビジネス研究会」を発足し、市内企業の皆様を対象としたセミナーや勉強会等を予定しております。こちらの研究会立ち上げに先立ちまして、今回はオープンセミナーとして開催いたしますので、カーボンニュートラルにご興味・ご関心をお持ちの多くの企業様からのご参加をお待ちしております。

尚、本研究会への参画申込みも併せて承っておりますので、こちらにおきましても是非ご検討頂きますようお願い申し上げます。



- ・SDGsや脱炭素、カーボンニュートラルに取り組まれようとして
いるいわき市内企業の代表者又は推進責任者、実行計画策定実行者。
- ・カーボンニュートラルに関してご興味・ご関心をお持ちの方 等

会場 いわき産業創造館 企画展示ホール
(いわき市平字田町120 LATOV 6F)



講師

一般社団法人サステナブル経営推進機構 代表理事/専務理事 壁谷 武久氏



愛知県生まれ。元経済産業省(中部経済産業局、製造産業局)。
2007年4月~2019年9月まで一般社団法人産業環境管理協会にてLCA事業、地域・産業支援事業に従事。
2019年6月一般社団法人サステナブル経営推進機構を設立。
「カーボンフットプリントプログラム」の事業化や「地力型循環経済社会」づくりの提唱による「環境・エネルギー」を軸とした豊かな地域、産業づくりのための支援事業を展開。
現在はカーボンニュートラル社会の実現に向け、サステナブル経営推進を通じた新たな支援スキームづくりにチャレンジ中。

主催:公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会(いわき市委託事業) ICSN 協力:一般社団法人サステナブル経営推進機構 SuMPO
本事業は、信金中央金庫様の地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団(企業版ふるさと納税)」によるいわき市への寄附金を活用し実施いたします。

事業背景

2015年に国連が掲げたSDGs(持続可能な開発目標)は、世界共通の様々な社会課題・問題解決にむけて、2030年までに日本をはじめ世界各国が達成すべき17の目標からなる持続可能な社会づくりの羅針盤といえるものです。そのうち目標13では、温室効果ガスの排出を原因とする地球温暖化現象が招く世界各国で深刻化する気候変動問題とその影響を軽減することが目標となっています。

日本では「2050年までに温室効果ガス(CO₂)の排出量を全体としてゼロにする」と宣言していることから、CO₂の排出量を可能な限り削減し、脱炭素社会実現に向けた取り組みである「カーボンニュートラル」への注目が高まっています。そして、カーボンニュートラルを実現する上で、企業の気候変動対策は必至であり、企業の具体的なCO₂排出量削減に向けた取り組み(再生可能エネルギーへの転換 ※目標7、サーキュラーエコノミー型ビジネスモデル等)こそSDGs目標13の達成には不可欠となります。

また、世界的に「脱炭素社会」をめざす取り組みが加速する中、ESG投資の広がりやサプライヤーへのCO₂削減の要求など、企業としてもカーボンニュートラルに向けた取り組みが必要な時代になりつつある中で、自社だけでなくサプライチェーン全体でのCO₂排出量の削減が重要視されています。

このような中で、気候災害による影響は直接的な被害に留まらず、生態系、経済活動、保険衛生や福祉に至るまで様々な形で長期的に現れてくることが予測されており、カーボンニュートラル社会の実現(気候変動対策)は、SDGsに挙げられた17の目標すべての達成に寄与する重要なテーマであることがわかります。

SDGsビジネス研究会について

研究会では、勉強会やワークショップを実施、カーボンニュートラル実現に向けて、自社で何をすべきか、何をどのように把握するべきか理解を深めて頂くほか、CO₂等の排出量の見える化と削減に向けた具体的手法について学んで頂きます。

また、企業様自らCO₂等の排出量を算定し、それに伴うCO₂削減実行計画書(具体的なアクションプラン)を作成頂きますと、「**いわきカーボンニュートラル推進企業**」として**顕彰**[※]致します。

このようにSDGsの環境関連目標を経営目標に設定し、具体的行動計画を策定している企業であることを対外的に公開することで、企業の持続可能な成長を後押しするとともに、社会課題の解決や地域経済の包摂的かつ持続的な成長発展を図ります。

※1 SuMPO(一般社団法人サステナブル経営推進機構)と共同で、いわき産学官ネットワーク協会が定める基準による企業顕彰プログラムです。CO₂を効果的に削減するための具体的な手法を理解するほか、自社の事業活動に伴う直接排出量(スコープ1)および他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出量(スコープ2)について、企業様自らCO₂排出量を算定頂き、CO₂排出削減実行計画書(削減目標等を記載したアクションプラン)を作成頂きます。当協会による企業顕彰プログラムに準じた実行計画書を作成・情報開示頂いた企業様には、「いわきカーボンニュートラル推進宣言企業」として顕彰します。

※実行計画書作成については、専門家等の伴走支援も行う予定です。
※スコープ1:事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)。
※スコープ2:他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出。

SDGsビジネス研究会・今後のスケジュール

8月24日(水)

9月28日(水)

10月26日(水)

勉強会・ワークショップ開催(毎月1回)

自社のCO₂の把握から始める(=スコープ1,2の算出チャレンジ)
座学と実演、その他サーキュラーエコノミーについて理解する。

企業ごとのCO₂見える化・目標設定
発展課題:カーボンフットプリントへの理解。

環境問題→サーキュラーエコノミー→カーボンニュートラルからの、企業としてアプローチする実行計画を検討する。

カーボンニュートラルを目指すことで、SDGsの環境関連目標を具体化する。
(経営目標に設定して、具体行動計画をつくる)

SDGsへの展開(自社のシナリオの検討)

※9月29日(木)、10月27日(木)は専門家による個別企業訪問を予定。

10月13日(木)

～15日(土)

REIFふくしま2022出展

事業PR・ビジネスマッチング

研究会の取り組みや参画企業様の事業、カーボンニュートラルに向けた取り組みを紹介予定。

11月～12月

参画企業様による自社CO₂排出削減実行計画書の作成

専門家等による企業のCO₂見える化・実行計画書の策定・立ち上げに向けたハンズオン支援にも対応致します。

12月7日(水)

～9日(金)

エコプロ2022出展

事業PR・ビジネスマッチング

研究会の取り組みや参画企業様の事業、カーボンニュートラルに向けた取り組みを紹介予定。

12月中旬

講演会・シンポジウム開催

事業構想の検討(設定目標に向けた事業構想・実行計画について発表(1～2社程度)
講評や意見交換(基調講演者、SuMPO紹介専門家)

